

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 アトムリビントック株式会社

コード番号 3426 URL <http://www.atomlt.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 良一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部管掌 (氏名) 根本 博

TEL 03-3876-0607

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	7,388	16.1	609	48.1	636	44.8	384	47.7
25年6月期第3四半期	6,365	15.1	411	77.5	439	59.8	260	△18.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	96.39	—
25年6月期第3四半期	65.25	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年6月期第3四半期	8,940		7,628		85.3	
25年6月期	8,527		7,348		86.2	

(参考)自己資本 26年6月期第3四半期 7,628百万円 25年6月期 7,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年6月期	—	15.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年6月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当5円00銭
26年6月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,760	16.0	730	46.5	770	44.0	430	32.3	107.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成26年4月28日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	4,105,000 株	25年6月期	4,105,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	115,117 株	25年6月期	115,117 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	3,989,883 株	25年6月期3Q	3,989,883 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の推進する経済対策及び金融緩和の効果を背景とした円安・株高基調の継続により、企業業績や個人消費に一定の改善が見られたものの、円安進行による原材料価格の上昇や消費税率引き上げに伴う消費低迷への懸念など、景気の先行きに対する不透明感は依然として拭い去れない状況のもとで推移いたしました。

当社の関連する住宅市場におきましては、低水準にある住宅ローン金利や被災地着工の増加、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などに支えられ、新設住宅着工戸数に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、雇用・所得環境には未だ厳しさが残存しているなど、本格的な市場の回復には至らない水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は今期を中間年度とする「第8次中期経営計画」(第59期～第61期)において「次世代に向けた企画開発力の向上」を基本方針に掲げ、住宅関連産業における企画開発型企業として、市場のニーズに応えるものづくりを推進し、併せて全方位のお客様に対する積極的な営業活動に最大の努力を傾注するとともに、販売費及び一般管理費の圧縮など、調整かつ管理可能な諸施策を講じて参りました。とりわけ、ソフトクローズ関連商品の充実強化と市場への浸透、販路拡大に取り組んで参りました結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高7,388百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益609百万円(前年同期比48.1%増)、経常利益636百万円(前年同期比44.8%増)、四半期純利益384百万円(前年同期比47.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産総額は8,940百万円となり、前事業年度末に比べ412百万円増加となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が416百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては1,312百万円となり、前事業年度末に比べ132百万円増加となりました。主な内容は、買掛金が149百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては7,628百万円となり、前事業年度末に比べ280百万円増加となりました。主な内容は、配当金支払で119百万円減少しましたが、第3四半期累計期間における四半期純利益で384百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、上述の経済環境を要因として、引き続き予断を許さない不透明な状況が続くものと考えられますが、当社の関連する住宅市場におきましては、政府による各種住宅取得支援制度の拡充効果や金利・地価の先高観などを背景とした住宅投資マインドの改善、被災地での着工増加に支えられ、新設住宅着工戸数については、前回の97年消費増税時に見られた過度な反動減はないものと考えられる一方、消費性向及び雇用・所得環境の明確な改善が伴わなければ、顕著な回復は望めない状況にあると思われま。

このような状況のもと、当社は昨年10月に創業110周年、更に本年1月にはアトムブランド誕生60周年を迎え、また来期、第61期には株式会社へと法人改組して60周年という節目の年度を迎えますが、この記念すべき2年間を新たな決意を固めるよい機会と捉え、創業以来の思い「独り歩きのできる商品を提供する」を全うすべく、第8次中期経営計画の基本方針に則り、本来の企画開発型企業として、新技術の開発、新製品の開発に磨きをかけることはもとより、企画開発力を更に強化し、時代と社会の要請に応えるものづくりを目指すとともに、将来を見据えた各種投資の活性化を図りつつ、柔軟かつ機動的に経営体制の見直しを推進し、併せて第4四半期冒頭の本年4月には東京・大阪にて「春の新作発表会」を開催、別けてもアトムCSタワーにおいては「ATOM+東海大 産学協同作品展」を同時開催するなど、今後とも同施設においては、住生活に関連する周辺多分野にわたるイベント及びセミナーなどを開催して、継続的かつ積極的な活動を展開し、以て新規事業と既存事業との更なる相乗効果の実現を目論んで参りたいと思ひます。

なお、通期業績見通しにつきましては、消費税率引き上げに伴う反動など、当社の関連する住宅市場を取り巻く事業環境には不透明感が多いものの、当第3四半期累計期間における業績と、堅調に推移するソフトクローズ関連商品を中心とする住宅用内装金物の販売状況とを勘案し、平成25年8月5日公表の「平成26年6月期の業績予想」を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成26年4月28日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,561,852	1,358,478
受取手形及び売掛金	2,143,475	2,559,592
有価証券	893,465	700,000
商品	470,420	588,989
貯蔵品	9,691	—
その他	66,301	65,404
貸倒引当金	△3,219	△257
流動資産合計	5,141,987	5,272,207
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,017,823	1,130,765
工具、器具及び備品(純額)	96,774	125,825
土地	1,027,767	1,027,767
その他(純額)	1,247	14,280
有形固定資産合計	2,143,614	2,298,639
無形固定資産	9,986	30,755
投資その他の資産		
投資有価証券	1,084,231	1,209,555
その他	148,252	129,430
貸倒引当金	△94	△39
投資その他の資産合計	1,232,389	1,338,946
固定資産合計	3,385,990	3,668,341
資産合計	8,527,978	8,940,548

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	471,820	621,772
未払法人税等	197,668	146,420
その他	155,198	188,984
流動負債合計	824,688	957,177
固定負債		
退職給付引当金	176,328	172,611
役員退職慰労引当金	178,095	170,637
その他	600	11,800
固定負債合計	355,024	355,049
負債合計	1,179,713	1,312,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,745	300,745
資本剰余金	273,245	273,245
利益剰余金	6,818,633	7,083,530
自己株式	△64,475	△64,475
株主資本合計	7,328,148	7,593,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,117	35,276
評価・換算差額等合計	20,117	35,276
純資産合計	7,348,265	7,628,321
負債純資産合計	8,527,978	8,940,548

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	6,365,819	7,388,927
売上原価	4,546,094	5,309,278
売上総利益	1,819,725	2,079,648
販売費及び一般管理費	1,407,906	1,469,780
営業利益	411,818	609,868
営業外収益		
受取利息	7,250	7,446
受取配当金	1,263	1,351
仕入割引	19,184	22,596
その他	485	4,224
営業外収益合計	28,183	35,619
営業外費用		
有価証券償還損	600	7,760
雑損失	—	1,367
営業外費用合計	600	9,127
経常利益	439,402	636,360
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	757	3,568
特別損失合計	757	3,568
税引前四半期純利益	438,645	632,792
法人税、住民税及び事業税	179,134	244,009
法人税等調整額	△820	4,189
法人税等合計	178,314	248,198
四半期純利益	260,330	384,593

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。